

池田山麓地域の活性化について



土川 博 議員

少子・高齢化、更には過疎化の進むなか、



山麓道路沿いの遊休地

池田町の大切な財産である池田山とその一帯の遊休地の活用、ふれあい街道を含めた今後の開発計画、また地域の手作りイベント「池田山麓ちよつとアートな春の市」のような村おこし行事などの視点

も踏まえ、池田山麓一帯の地域活性化についてどのように考えているか。

町長

山麓地域には2町歩・3町歩と固まった荒れた農地がある。そ

こに利益の上げられるものとして観光農園が考えられる。今後地質も含め研究していくことが必要だ。また、クラフト展は地域の方が独自に考えながらイベントを開催し地域おこしをしていただいている。そうしたことには、養老鉄道を利用したハイキング等を計画するなど側面的な支援をしていきたい。



池田山麓ちよつとアートな春の市

地籍調査の進捗状況は!!

住民の生活と財産基盤の確立はどうしてもやらなければならない事業だ。特に山麓一帯の区有林、私有林は境界が不明確である。治山・治水工事の際は勿論のこと、山麓一帯の今後の活性化を推進する上において地籍調査は大変重要であるがどのような状況か。

町長

財産を守っていく上において必要な事業である。平成14年度開始し、全体で5地区2.76平方キロメートル完了。現在養基地域3地区で実施。山麓一帯の地籍調査をするには、町内の各生産森林組合や管理組合の境界や面積が広大になるという問題点もある。事業費等のこともあり長期的な事業となると思うが、今後の研究課題としたい。